

科目名	科学技術英語 I Scientific and Technical English I	科目コード	51500
-----	--	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	押木守（環境都市工学科）
区分・単位数	必履修・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義15，演習15，実験0，その他0】
教科書	ロバートヒルキ・ポールワーデン・ヒロ前田，新 TOEIC テスト 直前の技術—スコアが上がりやすい順に学ぶ，アルク
補助教材	適宜プリントを配布する
参考書	構造力学，水理学，鉄筋コンクリート工学，地盤工学で使用したテキスト

### 【A. 科目の概要と関連性】

環境都市工学分野で仕事をする上において、英語は必要不可欠である。この授業では、精選された環境都市工学に関する問題に取り組むことを通して、英語表現に対する理解を深める。

○関連する科目：構造力学，水理学，鉄筋コンクリート工学，地盤工学

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 構造力学に関する英語表現を修得する。	25%	(d1)
② 水理学に関する英語表現を修得する。	25%	(d1)
③ 鉄筋コンクリート工学に関する英語表現を修得する。	25%	(d1)
④ 地盤工学に関する英語表現を修得する。	25%	(d1)

### 【C. 履修上の注意】

英語および数学の基礎学力が必要である。和文英訳レポートについて、前回講義において各学習テーマに沿った「和文英訳」課題を出すので、その課題を次回講義日迄に教員室前のレポート box へ提出する。小テストについて、指定教材の課題範囲に該当するパートの問題を市販参考書から抽出し、テストを行う。マークシート形式による回答とする。小テストは講義開始予定時刻の 10 分後に開始する。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格とする。

- 和文英訳レポート： (24%) 【内訳：2%×12 講義】
- 小テスト： (24%) 【内訳：2%×12 講義】

- 定期試験（52%）【内訳：学年末 52】

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	進め方の説明および練習	
2	構造力学の英語演習 1	小テスト：数式、科学記号
3	構造力学の英語演習 2	小テスト：教材 1 日目
4	構造力学の英語演習 3	小テスト：教材 2 日目
5	水理学の英語演習 1	小テスト：教材 3 日目
6	水理学の英語演習 2	小テスト：教材 4 日目
7	水理学の英語演習 3	小テスト：教材 5 日目
8	鉄筋コンクリート工学の英語演習 1	小テスト：教材 6 日目
9	鉄筋コンクリート工学の英語演習 2	小テスト：教材 7 日目
10	鉄筋コンクリート工学の英語演習 3	小テスト：教材 8 日目
11	地盤工学の英語演習 1	小テスト：教材 9 日目
12	地盤工学の英語演習 2	小テスト：教材 10 日目
13	地盤工学の英語演習 3	小テスト：教材 11 日目
14	地盤工学の英語演習 4	
—	学年末試験	試験時間：90 分
15	試験解説と発展授業	